

明治グループのCSR

社会から、そしてお客さまから必要とされ、 信頼される企業であり続けるために

明治グループでは、
本業を通じて日々グループ理念を実践し、
社会に必要とされる存在であり続けることこそ、
社会的責任を果たすことであり、
グループCSRの基本と考えています。
明治グループで働く一人ひとりが、
「企業行動憲章」に基づいて活動を推進し、
ステークホルダーの皆さまからの期待に応え、
社会への責務を継続的に果たしていきます。



明治グループCSR2026ビジョン

明治グループは、食と健康のプロフェッショナルとして事業を通じた社会課題の解決に貢献し、
人々が健康で安心して暮らせる「持続可能な社会の実現」を目指します。

「明治グループ2026ビジョン」の重点方針にも掲げられている「社会課題への貢献」を実現するための具体策として、「明治グループCSR2026ビジョン」を策定しました。CSRビジョンの策定にあたっては、長期視点を取り入れながら、明治グループとして取り組むべき活動を抽出しました。設定したKPI※は、グループCSR委員会において進捗を確認し、情報を開示していきます。

※ KPI：重要業績評価指標

有識者とのダイアログを行いました

明治グループCSR2026ビジョンは、三つの重点テーマを中心に、二つの土台をしっかりと据えられていて分かりやすく、内容的にも魅力的なものです。一つだけ早期に改める領域は、「低炭素社会」です。国際社会は「脱炭素化」に向かっていることから、少なくとも製造・オペレーションの電力を100%再生可能エネルギーで賄うという長期ビジョンが必要になると考えます。



一般社団法人NELIS共同代表
リーダーシップ・アカデミー-TACL代表
ピーター・D. ピーダーゼン氏

SDGsの時代に、社会課題への貢献を前面に明治グループCSR2026ビジョンを新たに打ち出したことは、タイムリーな取り組みと言えると思います。事業を通じ、このビジョンを追求した成果について、継続的な情報開示を実施されることを期待します。



ロイレジスタージャパン株式会社
取締役
富田 秀実氏

策定プロセス

Step 1 課題の抽出、活動項目の選定

事業を通じた取り組み、明治グループに対する社会からの要請、持続可能な開発目標 (SDGs) などの観点から、明治グループらしい活動項目を選定。

Step 2 マテリアリティの特定とKPIの設定

選定した活動項目に対して社外有識者とのダイアログを行い、マテリアリティ (重要課題) を特定し、KPIを設定。

Step 3 経営レベルでの承認

CSR事務局会議、グループCSR委員会での議論を経て、取締役会で決定。